

8 文昌祠の大甲公学校



運動場（「大甲鎮志」引用）



職員室



教室



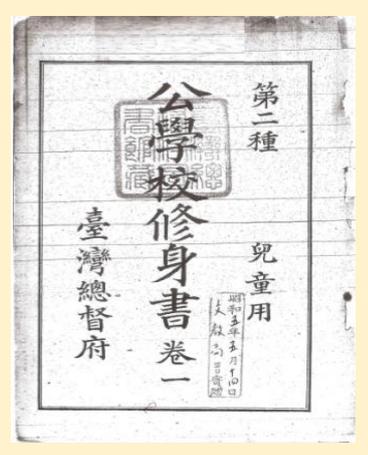
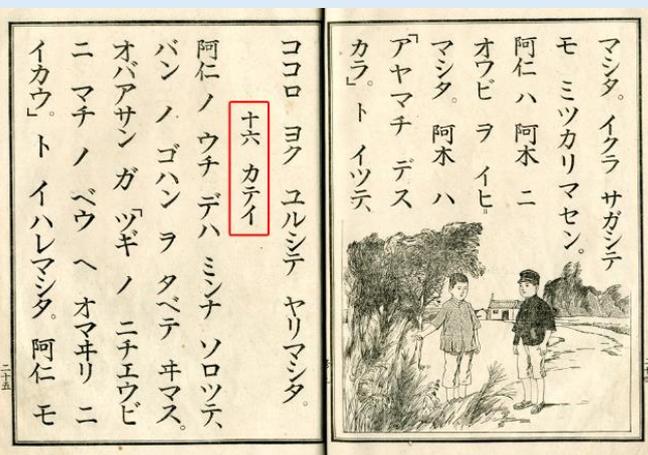
校長
金子政吉
茨城県



雇教員
志賀哲太郎
熊本県



雇教員
陳藻芬
台湾



国語と修身の教科書（「臺灣總督府學務部」引用）

大甲公学校は、明治31(1898)年10月に文昌祠にあった国語伝習所を廃止した後にできました。哲太郎は翌32年2月、陳間(ちんかん)に従い台湾語の研修を受け、同年5月から教鞭(きょうべん)をとります。生徒は40余人でした。開校当初の修学年限は四学年制で、8歳以上14歳以下の子どもたちでした。二学期制で一学期は2月1日から7月31日まで、二学期は8月1日から翌年1月31日まででした。本堂前に一学級、両側に一学級ずつと三つの学級を置いた複式の授業でスタートしました。先生は、校長金子政吉、台湾人の汪清水(おうせいすい)と哲太郎の3人で、哲太郎は不得手の唱歌以外の修身(しゅうしん)、国語、作文、算術、習字、体操を受け持ちました。同年8月からは雇教員の陳藻芬(ちんそうぶん)が加わりました。